

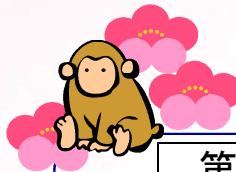


2016（平成28）年を迎えて
「地道に確実に進もう」
県事協会長 迫田弘昭（内之浦小学校）

新年おめでとうございます。今年も県事協の様々な事業への御協力よろしくお願ひします。理事会も会員の皆様の要望にこたえられるよう頑張っていきます。

最近、学校に届いた教育家庭新聞（宛名が学校長、事務職員併記）に、「学校経営と学校マネジメント」の特集が組まれていました。毎年、文科省は学校マネジメントフォーラムを開催しており、今年のフォーラムでは、今流行りの「チーム学校」づくりや公務の情報化による業務改善、学校支援体制の構築などについて全国各地からの事例報告があったみたいです。事例報告のコーディネーターを務めた文科省初等中等教育局の廣田氏が「チーム学校や学校のマネジメント力の強化について、事務職員への期待が大きくなっている」と述べたとも書いてありました。世の中が変わっていく中で事務職員に求めることも以前とは変わってきています。でも、私たち学校事務職員は、子どもたちの学びの場である学校に勤めて、仕事の基本は、学校で子ども達が安心して過ごせるように、財政面、施設設備面から、子どもたちの学びを確保してあげることであり、これからもそれは変わることはないと思います。鹿児島で行なわれている共同実施も、「お互いの学校事務をどう支援し合うか」「学校事務の充実の中からの教育支援」に主眼がおかれ、全国のとり組みとは一線を画しています。九州各県の学校事務のスタイルが大きく変わる中で、鹿児島は、現状を維持し「地道に確実に進んでいく」ようこれまで以上の地区での活動を期待します。

今年は、学校事務現状報告会の運営方法の改善、県事協CDの印刷可への変更など、会員の皆様の要望にこたえる事業を推進していきます。県事協は「会員皆さんのもの、広く情報を共有する」という基本理念にたって、各事業を理事会で計画していきます。



謹賀新年

第3回評議員会報告

11月17日（火）に第3回評議員会が互助組合にて開催されました。

今回の議題は主に次年度事業計画と予算編成に係る会費の提案になりました。次年度の事業計画ですが、今年度と同様に諸手当認定・電算マニュアル等の加除修正作業を県費事務改善検討委員会が中心になって行って参ります。そしてこの諸手当認定マニュアルですが2017年度版（2018年3月配布予定）より全面刷新される予定です。また要望の多かった両面印刷やとじ穴の改善も刷新版より行われます。

また、現在、配布されています県事協CDにつきましても今年度配布分よりすべて印刷が可能になります。

次に例年8月実施の現状報告会ですが、来年度より討論の深化と地区の負担軽減の観点から発表レポートを2本に絞り、分散会方式に移行することが提案されました。

これにより各地区4年に1度の発表に変わります。今年度のアンケートを分析してみると、8割以上の方から「他の地区の情報を知る良い機会だ。」「今後も継続して欲しい」との意見が寄せられています。

しかし今後の課題として新たな内容のレポートや事務職員の将来や「職」について語る会の設定を望む声もあります。

今後、現状報告会のあり方につきましては、各地区での協議をお願いいたします。

最後に来年度の予算についてですが、事業内容が本年度と大きく変わらないことや、事業に対する旅費が少なくなることから今年度より50円少ない1100円が会費になる予定です。

各地区の事務職員会等の紹介

共同実施2年目になりました

鹿児島市学校事務研究会
大明丘小学校 池田 隆一

1 専決権の留保

「諸手当認定の専決を支援室ごとの条件が整うまで留保する」という形でスタートした鹿児島市の共同実施ですが、12月現在21支援室中18の支援室で専決が行われています。

2 4月の認定事務

大規模校が多い鹿児島市では4月異動期の諸手当認定事務をスムーズにこなせるかが課題のひとつでした。市事務職員協議会で支援室長へのアンケートを行ったところ「1つの事案を支援室全員で点検すると一日ではとても時間が足らず、4月の終わりに支援室を臨時開催した」「当初計画2回を3回に増やした」「専決については、2班に分けて作業をおこなった」「工夫して効率よく審査をする必要を感じた」などの感想が寄せられました。短時間で50件以上の認定事案を専決しなくてはならない支援室長の負担の大きさが課題となっています。

また、市学校事務研究会でも、4月半ばに開催していたグループ研修会を取りやめるなどして、支援室での諸手当認定事務を優先する対策を講じました。

3 通勤手当の認定

鹿児島市の地理上の特徴として、住宅地が広範囲に広がっているため、その間を通る小径が多い。一方通行やスクールゾーンによる時間帯規制の道路が多いということがあります。

現在のところ、地図ソフト、ネット地図、実測証明書などを使って対応していますが、「一般に利用しうる最短の経路」の解釈を巡って頭を悩ませている状況です。通勤距離確定のための「ものさし」統一の必要性を感じています。

4 室長の交代

4月の人事異動に伴い21支援室中9支援室で室長の交代がありました。同上のアンケートで「内示の際に室長の話もあったが、辞令が遅く専決していいのか迷った」「転入時、室長辞令がきたのが5月11日で遅かった」「室長同士の引き継ぎではなく、支援室内での引き継ぎのシステムの確立が必要」との意見が寄せられました。市学校事務研究会は市教委・教育事務所に対して室長の交代に際して混乱が生じないよう辞令の交付を早急にするよう求めました。

活動経過及び予定

- 11月17日 理事会
第3回評議員会
- 1月15日 理事会
第3回常任委員会
- 2月末～ マニュアル配送
- 3月3日 理事会
第4回評議員会



鹿児島市のかくれスポット

桜島自然恐竜公園

子ども達も大喜び！春には桜も見られます。後ろの桜島もいいかんじ♪

編集後記

今頃から県事協だよりの編集をすることになりました手裏小の伊尻です。この脈々と続いてきた長い歴史のある県事協だよりを引き継ぐプレッシャーと不安を感じながら、多くのご協力をいただきながらようやく完成することが出来ました。県事協だよりはこれまで会員の皆さんに情報を届けるだけでなく皆さんからの想いを伝える場として大きな役目を担ってきました。この血液とも言えるだよりを欠かさず送り届けられるように微力ではありますが頑張っ参りたいと思います。

さて編集を担当するに当たり地区情報や県事協活動はもとより日々の出来事やほっこり出来る話なども掲載できればと思っています。皆さんからの情報や感想もお待ちしております。また次も読んでみたくなるだよりを目指していきたいと思っておりますのでご支援よろしくお願いたします。